

フジサンケイグループの産業情報紙

日本工業新聞



やっぱり 創造技術

日本工業新聞は
モノづくりを大切にします

助っ人料は半分

ISO取得 中小企業を支援

国際標準化機構(ISO)規格の審査員資格を持つ人が集り、中小企業による国際品質管理・保証規格「ISO9000シリーズ」と国際環境管理・監査規格「同14000シリーズ」の認証取得を支援するビジネスに乗り出す。独立して審査業務を営む人や企業に所属しながら審査員資格を取得した七人で、知的所有権管理会社のオフィス エイティセブン(社長・田村元氏、東京都大田区、☎03・3729・1076)を事務局にしてコンサルタント集団「システコ グループ」を設立。従来の約半額でコンサルタント業務を引き受ける。

七人の侍 決起

「システコ グループ」設立

グループを結成した七人の業務。通常、取得審査のうち、六人がISO9000の審査員資格と同14000の審査員補資格の両方を持っている。また、田村社長もメンバーで、両規格の審査員補資格を持つ。システコ グループが手がけるのは、認証取得審査の前に必要となる各種の手続きやマニュアル作成など

「同グループは、この料金を同一万円とほぼ半分に設定、中小企業の認証取得を支援する。田村社長は「中小企業がISO規格を取得しようとする」と、コンサルタント料だけで二百万円以上必要なうえ、その後の審査費用まで含めるとコストがかかり過ぎるので、二の足を踏むことが多い」と、制安備格で参入する狙いを話している。

既に埼玉県、群馬県、千葉県など首都圏を中心とした中小企業にアプローチし

しており、「多くの企業から問い合わせがきている」(田村社長)と、反響は上々のようだ。グループの審査員は今後のニーズに応じて増やしていく考えで、「依頼のあった企業の適切なコンサルタントが行えるよう幅広い業種の専門家に参加を呼びかける」(同)考えた。